

第30回 維持管理・環境管理専門委員会  
第3回 H30年度イベント実行委員会  
議事録

維持管理・環境管理専門委員会に関わる  
事項を黒文字で、それ以外はグレー文字  
で示しています。

- 日時：平成30年6月14日（木）14:30～16:30
- 場所：上尾市コミュニティセンター第2集会室
- 資料

- ・ 資料－1. 前回の議事録
- ・ 資料－2. H30年度イベントについて
- ・ 資料－3. H30年度維持管理について
- ・ 資料－4. H30年度工事について
- ・ 資料－5. マーケットリサーチについて
- ・ 資料－6. 全体構想の時点更新について
- ・ 参考資料1. H30年度維持管理・イベントスケジュール

## 【議事結果】

- ① 中池散策・写真撮影イベントは、委員主体で実施していけるよう、なるべく内容や準備物を簡素にする。
- ② 秋イベントのスタッフについては、昨年度と同様、実行副委員長は川島委員長から埼玉大学生、司会は事務局から桶川西高校に依頼する。
- ③ 助成金の申請はチラシ・ポスター印刷、マップ作成を主体に、余裕があれば適宜必要な物品を加えて申請する。詳細はイベント実行委員長と事務局で調整する。
- ④ 6月23日のミドリシジミ観察と除草の維持管理イベントは、当日参加できる委員の人員を踏まえて、資料の細部を詰めて事務局より各参加委員に連絡する。
- ⑤ 6月27日の維持管理作業は、前回残ったハリエンジュの伐採と中池の管理用通路沿いのオオブタクサを主体に実施する。
- ⑥ 川島町の方で、農業・畜産関係の団体の役員会等に伺い、協議会の取組を紹介することを検討する。
- ⑦ 下池の掘削予定範囲の低木や草本を含めた植物相全体の情報を確認しておく。次回の委員会で掘削の際の配慮事項等について再検討する。
- ⑧ 環境経営研究会やその所属企業との連携について検討していく。
- ⑨ 川島町には「町民カメラマン」の制度があるため、太郎右衛門の紹介につながるよう、イベントがある時には情報を提供する。
- ⑩ 彩の国環境大学修了生の会については、川島委員より当会の活動への参画を呼びかける。
- ⑪ 全体構想の改定にあたり、古くなった情報を時点更新するという事務局提案について、ある程度整理が出来た段階で事務局から提示する。

## 【主な議事内容】

### ◎協議事項

#### ●前回の議事録について

(質疑応答なし)

#### ●H30 年度イベントについて

- ・ 中池散策・写真撮影イベントは、委員主体で実施していけるようになるべく内容や準備物を簡素にする。事務局は安全管理に必要な人員だけ対応する程度にしていく。以上の観点から、6月16日に実施する際はテーブルの用意は不要。前日11時の天気予報によって、実施について判断する。
- ・ 秋イベントのスタッフについては、昨年度と同様に、実行副委員長は川島委員長から埼玉大学生、司会は事務局から桶川西高校に依頼する。
- ・ 助成金の申請はチラシ・ポスター印刷、マップ作成を主体に、余裕があれば適宜物品を加えて申請する。詳細はイベント実行委員長と事務局で調整する。イベント実行委員会を開催するかどうかは、イベント実行委員長と事務局で相談して決定する。
- ・ マップ作成について、秋のイベントに間に合わせるためには、いつから着手すれば良いか、製作期間を確認すること。

#### ●H30 年度維持管理について

- ・ 6月23日のミドリシジミ観察と除草の維持管理イベントは、当日参加頂ける委員の人員を踏まえて、資料の細部を詰めて事務局より各参加委員に連絡する。
- ・ 6月27日の維持管理作業は、前回残ったハリエンジュの伐採と中池の管理用通路沿いのオオブタクサを主体に実施する。後者については、秋イベントで利用する予定である、上流側の範囲を中心に実施する。前回実施できなかったオオカワヂシャの除草については、実施可能な状況であれば追加で実施する。
- ・ 5月17日に維持管理を実施した中池では、オオブタクサを「抜いた」場所と「刈った」場所で違いが出ていた。刈った場所では再度成長が見られ、抜く方が効果は大きいと考えられた。オオブタクサが生えていない場所も、在来種ではあるが高径のオギやつる性のカナムグラやクズが繁茂しており、これらが通路沿いまで迫ると景観はあまり良くない状態となる。農業用の草刈り機などを所有している地元の方々に協力して頂いて広く草刈りが出来ると良い。また、ヤギやヒツジによる植生管理も一案として考えられる。
  - 川島町の方で、農業・畜産関係の団体の役員会等に伺い、協議会の取組を紹介することを検討する。
- ・ 川島委員からの依頼により、特定非営利活動法人鴻巣こうのとりを育む会のメンバーが今後の維持管理作業に参加して頂ける予定である。
- ・ 今後の維持管理の進め方の細部は、委員長と事務局で詰めていく。

●H30 年度工事について

- ・ 予定通り掘削する場合、移植すべき対象や掘削土砂の埋土種子利用の可能性があることが想定されるため、低木や草本を含めた植物相全体の情報を確認しておく。水路沿いなどにもシダ類などの留意すべき種がある可能性がある。
- ・ 今年度の工事に向けて、8 月中には方針を決める必要があるため、次回の委員会でこの情報をもとに掘削の際の配慮事項等について再検討する。
- ・ 委員会で再度、現地を確認することを検討する。

●マーケットリサーチについて

- ・ 環境経営研究会やその所属企業との連携について検討していく。
- ・ 接点を持ってそうな企業や大学があれば、委員長または事務局に連絡する。委員長と事務局で進め方を詰めて、具体的に動く際には各委員に参加を募る。
- ・ 川島町には「町民カメラマン」の制度があるため、太郎右衛門の紹介につながるよう、イベントがある時には情報を提供する。
- ・ 彩の国環境大学修了生の会については、川島委員より当会の活動への参画を呼びかける。

●全体構想の時点更新について

- ・ 全体構想の改定にあたり、古くなった情報を時点更新するという事務局提案について、ある程度整理が出来た段階で事務局から提示する。

以上